



旧小澤家住宅 旧齋藤家別邸

〈両家間の町歩きマップ〉



旧小澤家住宅の周辺



旧小澤家住宅がある周辺は「下(しも)」「下町(しもまち)」と呼ばれ、古い建物があちこちに残っていたり、小路(細い路地)があつたりして懐かしい感じがする場所です。
旧小澤家住宅が面する上大川前通は、かつては本店が店を構える場所として他の通りとは別格の通りとされてきました。また、旧小澤家住宅西側の本町通りは江戸時代から市が立ち、明治期には魚市場があって、たくさんの鮮魚商が集まって賑わっていました。
現在は、本町通はフレッシュ本町という名称で、露店も並び「下(しも)」の台所として多くの人々が買い物に訪れ、人情味ある通りとして愛されています。



北前船の時代館 新潟市文化財 旧小澤家住宅
新潟市中央区上大川前通12番町2733番地 Tel.025(222)0300

明治期に廻船業・廻船問屋業を営み、みなとまち新潟で成長した商家小澤家の店舗兼住宅です。周囲の家並みに調和した柔らかな造り、品の良い贅沢さがさりげなくほどこされた和の料を感じる空間です。また、景勝地松島の借景を模して造られたとされる庭園も見事です。

旧齋藤家別邸の周辺



旧齋藤家別邸がある西大畑地区は、古い市街地を縁取るように設けられた寺町の更に西側に位置し、その名の通り昔は砂丘地に畑が続く町の郊外だったといわれています。
19世紀半ば以降、軍の営所、新潟監獄などが置かれ、続いて砂丘が生み出す微地形に沿って街路、水路が通され、開発が進みました。
界隈には江戸時代から続く老舗料亭(行形亭)や明治時代後期以降に続々と建てられた近代和風建築、洋風建築などが数多く残っています。
また「異人池」という地名や新潟カトリック教会など、開港以降、市民生活に欧米文化が浸透していった歴史の名残を留めています。
現在は、新潟市美術館、安吾風の館、砂丘館、北方文化博物館新潟分館などの文化施設が集まる地域となっています。



新潟市 旧齋藤家別邸
新潟市中央区西大畑町576番地 行形亭隣 Tel.025(210)8350 (いきなりや)

旧齋藤家別邸は、豪商齋藤家の四代齋藤喜十郎(庫吉1864~1941)が、大正7年(1918)に別荘として造ったものです。砂丘地形を利用した回遊式の庭園と、近代和風建築の秀作といわれる開放的な建物は、大正時代における港町・商都新潟の繁栄ぶりを物語る文化遺産です。



1 あげぼの公園

湊小学校跡地に造られた公園です。園内には屋根付きの土俵、方角石、鬼の顔をしたまわし姿のユニークな像があります。

2 片桐邸

江戸時代より魚問屋(大助買おすけご)としてあり、現在も鮮魚関係の会社を営んでいるお宅です。一般住居のため内部の観覧はできません。

3 渡辺益二商店

味噌・糎・納豆を製造販売しているお店です。職人気質の手作り納豆は評判です。勿論お店で購入できます。建物は昭和初期のもの。



4 大橋屋本館

日本料理店。江戸末期に鮮魚仲買商として発祥しました。「かき合せ生鮮」と「胡麻豆腐」が名物です。昭和10年に完成した本館は、歴史ある建物として国の登録文化財に指定されています。



5 新潟絵屋

新潟町家の建物を活かした画廊として、毎月企画展を開催しています。気軽に上質な美術を楽しめる空間です。1・11・21・31日休廊。無料で入館できます。



6 新潟市美術館

新潟ゆかりの作家や近現代美術を中心にしたコレクション展の他、年数回の企画展を開催。天気の良い日は野外彫刻の散策もおすすめ。



7 西大畑公園

新潟監獄の跡地に造られた広い公園。西堀をイメージした堀と柳が再現されており、四季の花とともに公園の魅力となっています。



8 行形亭(いきなりや)

江戸時代創業。新潟を代表する日本料理の老舗。2000坪の庭園に離れの座敷があり、落ち着いた雰囲気や季節の料理を堪能できます。



9 北方文化博物館新潟分館

江南区沢海にある北方文化博物館の分館。會津八一が晩年に暮らしていたことでも知られています。八一の歌碑や歌書、また良寛の書などを展示しています。



